

公開講演会

自由世界で人権のために戦う意義を問う

Why Individual Rights Matter in a Free World

講師：ヤロン・ブルック博士 米国アイン・ランド協会 理事長

19:00 - 19:10 はじめに 内藤明宏(日本語)

人権と安全保障:近隣諸国の人権問題にどう向き合うか

19:10 - 20:00 「自由世界で人権のために戦う意義を問う」ヤロン・ブルック博士

20:00 - 20:30 質疑応答 モデレーター 田村洋一 (日本語・英語)

人権とは個人の生命と自由・財産への権利であり、その保護は自由主義世界において政府の最も重要な役割とされています。他方、新型コロナウイルスの災禍により社会・経済活動への統制が強化されるなか、中国などの権威主義的国家は公衆衛生の大義を超え、国民の行動と言論の自由を大きく制限し、少数民族への体系的な迫害を続け、国家の名のもとに個人の権利を脅かし続けています。

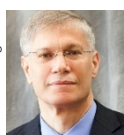
これはそうした国自身の問題にとどまらず、自由世界への脅威です。平和で生産的な社会を広く実現するために、本来政府が守るべき個人の権利とは何か？ グローバル経済の中、自由民主主義国家で生きる私たちは国として、企業として、あるいは個人として権威主義的国家の人権侵害とどのように対峙すべきか？ 二十世紀初頭にソ連から逃れ、米国で自由資本主義の急先鋒となった思想家アイン・ランドは、「本来の政府の目的は個人の権利の保護である」と主張しました。本講座では、米国アイン・ランド協会のヤロン・ブルック博士を迎え、個人の権利の意味を再確認すると同時に、世界の人権問題とどう向き合うべきかを考察します。

ヤロン・ブルック博士 Dr. Yaron Brook

イスラエル生まれ。米国アイン・ランド協会理事長。

著書に『Free Market Revolution: How Ayn Rand's

Ideas Can End Big Government』



内藤明宏 (日本アイン・ランド協会)

上海で単身起業後、スタートアップ COO、経営コンサル業。在中歴八年。著書に『なぜ中国はこんなにも世界で嫌われるのか』(幻冬舎新書)

日時:2022年9月16日(金)

19:00~20:30 (18:30 開場)

場所:東京大学駒場キャンパス

国際教育研究棟 314 号室

定員:先着 60 名

使用言語:英語(一部日本語あり)

申込: 事前申込 (前日までに以下 Eメールに氏名・人数を記載)

E mail: info@aynrandjapan.org

入場無料

お問合せ先: 阿古智子研究室
または 日本アイン・ランド協会

info@aynrandjapan.org

主催:日本アイン・ランド協会 共催:東京大学 阿古智子研究室